



Let's エコチャレンジ

日々の生活の中でできるエコライフのコツを毎月1回紹介します

問合せ: 環境政策課 (☎51・2419)

タイヤの空気圧を適切にしましょう

タイヤの空気圧が適正値より50kPa (0.5kg/cm²) 不足した場合、市街地で2%程度、郊外で4%程度、それぞれ燃費 (km/L) が悪化します。タイヤの空気圧を適切に調整すると燃費が向上します。ガソリンスタンドで給油するときには、店員さんに時々チェックをお願いしましょう。セルフスタンドでも空気圧調整の機械が設置してあるところがあります



<効果> 車1台あたり年間約48kgのCO₂削減、年間で約2,625円の節約

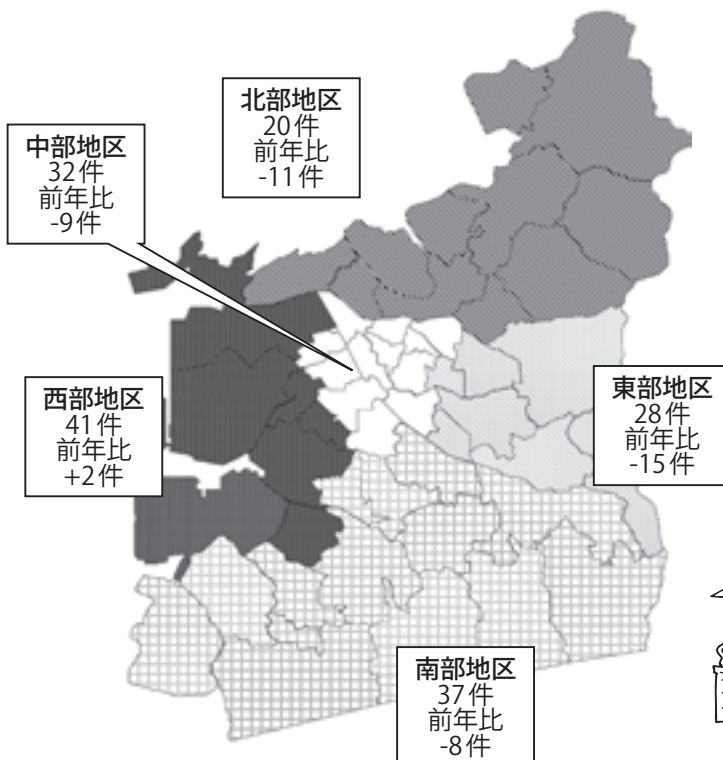
※年間10,000km走行、燃費10km/ℓの場合

西部地区注意！泥棒に気をつけて！

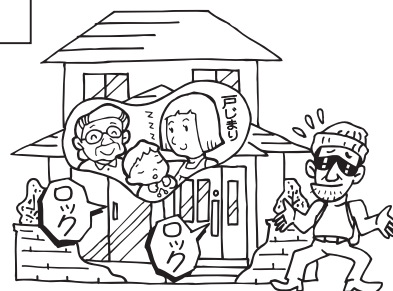
暮らしの安全安心 ひろくろも

- 暑さとともに開放的になった心につけ込み、住宅など建物に侵入する犯罪が増加する季節が到来しました。平成22年1月～4月の統計では、街頭犯罪発生件数が昨年と比べ減少傾向にある一方で、西部地区(牟呂・吉田校区など)においては、住宅や店舗に侵入される被害(泥棒など)が増加しています。夏休みを控え、レジャーなど楽しいイベントが多く開催される時期ですが、「自分を守るために」「自分ができる」防犯対策を講じましょう。
- おすすめ防犯対策
 - ・ごみ出しなど短時間の外出でも必ず窓ガラスやドアに鍵をかける
 - ・ドアや窓ガラスは補助錠などで二重にロックにする
 - ・暑くても、絶対に網戸のまま寝ない
 - ・窓ガラスは防犯フィルムを貼ったり、防犯ガラスにしたりして侵入に時間をかけさせる

■泥棒(侵入犯罪)地区別発生状況(平成22年1月～4月)



- ・家が留守だと思わせない工夫をする(夜間外出時は家に灯りをつけて出る、新聞などを郵便受けにためない、洗濯物などを干しっぱなしにしないなど)
- ・警報機やセンサーライトなどを設置する



問合せ 安全生活課 (☎51・2303)



7月11日(日)～20日(火)は 夏の交通安全市民運動

この時期は、暑さやレジャーの疲れから注意力が散漫となった運転者と、外出の機会が増える子どもたちや暑さで体力の低下が心配される高齢者などの交通事故の危険性が高まります。また、夏特有の開放感からスピードの出し過ぎや飲酒運転による重大事故の多発も心配されますので、無理をしないで安全運転に心がけましょう。

■運動の重点

- 子どもや高齢者を交通事故から守ろう
- 飲酒運転を根絶しよう
- すべての座席のシートベルトとチャイルドシートを正しく着用しよう

問合せ先: 安全生活課 (☎51・2550)



図書の夏休み特別貸出をします

中央図書館(羽根井町)、配本センター(向山大池町 市民文化会館内)、二川・石巻・南稜・北部・青陵・南部・牟呂地区市民館、こども未来館ここにこ(松葉町三丁目)で、図書の夏休み特別貸出をします。1人10冊(通常5冊)まで、貸出期間は2週間です。

特別貸出期間: 7月17日(土)～8月15日(日)
問合せ先: 中央図書館(☎31・3131)、配本センター(☎62・2944)



2010年は国民読書年です。

情報あれこれ



愛知県排水設備工事 責任技術者受験講習会・試験

■受験講習会

とき: 9月16日(木)午前10時20分～午後4時
ところ: 名古屋国際会議場白鳥ホール(名古屋市熱田区熱田西町) 内容: 筆記試験に関する講習 受講料: 6,000円

■試験

とき: 11月30日(火)午後1時30分～3時30分
ところ: 名古屋国際会議場イベントホール 対象: 次のいずれかに該当する方①学校教育法による高等学校または旧中学校令による中等学校以上の学校の土木工学科またはこれに相当する課程を修了して卒業した方②高等学校卒業者で、排水設備工事または排水設備工事以外の下水道工事あるいは水道工事の設計または施工に関し、1年以上の実務経験がある方③排水設備工事等の設計または施工に関し、2年以上の実務経験がある方④前記①～③に準ずる者として支部長が認める方 内容: 下水道に関する一般知識、排水設備に関する法令などについての筆記試験 手数料: 8,000円 申し込み: 7月5日～30日に申込用紙を直接、上下水道局給排水課(牛川町字下モ田☎51・2763)※申込用紙は7月5日から上下水道局給排水課で配布



豊橋市立看護専門学校 学校説明会

とき: 8月3日(火)・17日(火)(全2回) 午後1時30分～3時30分
ところ: 豊橋市立看護専門学校(青竹町字八間西) その他: 公共交通機関を利用してください
申し込み: 前日までに豊橋市立看護専門学校(☎33・7891)



夏の食中毒予防について

夏になると屋外でバーベキューなどを楽しむ機会が増えますが、夏場は気温・湿度が高いため、食中毒が起りやすい季節です。屋外での食品の取り扱いには特に注意が必要です。

■食中毒予防のポイント

- 生の肉類は細菌が増殖しないよう低温で保存しましょう
- 生の肉類には腸管出血性大腸菌(O157など)、カンピロバクター、サルモネラなどの食中毒細菌が付着していることがあります

- 生の肉類の肉汁が野菜などに触れないように注意しましょう
- 調理の前や生の肉類に触れたあとは、しっかりと手を洗いましょ
- 食品、特に肉類は中心部までしっかりと加熱しましょう。生焼けは危険です
- トング・箸などは生肉専用のものを用意しましょう
- 生肉に触れた箸で、焼けた肉を食べていませんか? 子どもや高齢者の方は食中毒になった場合に重症化しやすいので

- 特に注意しましょう
- 調理に使用する水は水道水など、衛生的な水を使用しましょう

平成21年度豊橋市食品衛生監視指導計画に基づき、監視指導等を行った結果を公表しています。

配布・閲覧場所 「ほいっぴん内保健所・保健センター、市役所じょうほうひろば、カリオンビル、ホームページ」

問合せ先

生活衛生課(☎39・9124) http://www.city.toyohashi.aichi.jp/bu_kenkou/seikatsusei/